第 117 回

2021年 4 月～6 月期

「景況調査」

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会

目次

１　回答者の属性 1
２　全体の景況判断 4
（ア）　全体の景況感 4
（イ）　各項目の状況 6
３　主要指標のクロス分析 11
（ア）　景況感別の動向 11
（イ）　業種別の動向 12
（ウ）　従業員規模別の動向 12
（エ）　本社地区別の動向 12
４　経営上の問題点 13
５　その他の調査項目 16
（ア）　資金繰り 16
（イ）　新卒採用 16
（ウ）　賞与 17
（エ）　障がい者雇用 17
（オ）　特別支援学校などから職場実習の受け入れ 18
６　経営指針書について 19
７　自由回答項目 21
（ア）　景況理由 21
（イ）　コロナにかかわる具体的状況 29

1 回答者の属性

このアンケートを回答したのはどのような人々か

前回から 37 件減少の 265 件。FAX 回答は 0 件となった。

第 117 回:調査時期:令和3年 6 月 1 日～6 月 30 日

回収数:265 件(令和3年 6 月1日会員数 2,149 名、回収率 12.3%)

方法:edoyu アンケートシステム(Web)、及び FAX

	回答方法	第116回		第117回		
No.	カテゴリ	件数	割合%	件数	割合%	構成比増減
1	WEB	290	96	265	100	4
2	FAX	12	4	0	0	-4
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	302	302	265	265	-37

	1.業種	第116回		第117回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	製造業（生産財）	24	8	22	8.3	0.3
2	製造業（消費財）	20	6.6	19	7.2	0.6
3	建設業（建築）	30	10	23	8.7	-1.3
4	建設業（土木）	7	2.3	8	3	0.7
5	建設業（設備）	17	5.6	17	6.4	0.8
6	商業・流通業	39	13	31	11.7	-1.3
7	サービス業（対事業所）	105	34.9	78	29.4	-5.5
8	サービス業（対個人）	59	19.6	67	25.3	5.7
	不明	1	0	0	0	
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	302	301	265	265	-36

	2.従業員数	第116回		第117回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	0名～5名	111	36.9	98	37	0.1
2	6名～10名	46	15.3	48	18.1	2.8
3	11名～20名	56	18.6	44	16.6	-2
4	21名～30名	23	7.6	21	7.9	0.3
5	31名～50名	25	8.3	19	7.2	-1.1
6	51名～100名	20	6.6	20	7.5	0.9
7	100名以上	20	6.6	15	5.7	-0.9
	不明	1	0	0	0	0
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	302	301	265	265	-36

	3.本社所在地	第116回		第117回		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	福岡地区	203	67.2	166	62.6	-4.6
2	北九州地区	29	9.6	22	8.3	-1.3
3	筑豊地区	33	10.9	37	14	3.1
4	県南地区	30	9.9	31	11.7	1.8
5	福岡県外	7	2.3	9	3.4	1.1
	不明	0	0	0	0	0
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	302	302	265	265	-37

	4.所属支部	第116回		第117回		
No.	支部名	件数	(除不)%	件数	(除不)%	構成比増減
1	東支部	26	8.8	21	8.0	-0.8
2	福博支部	12	4.0	10	3.8	-0.3
3	博多支部	25	8.4	24	9.1	0.7
4	中央支部	15	5.1	9	3.4	-1.6
5	西支部	16	5.4	18	6.8	1.4
6	南支部	32	10.8	24	9.1	-1.7
7	筑紫支部	13	4.4	13	4.9	0.5
8	福友支部	35	11.8	25	9.5	-2.3
9	青年支部	3	1.0	4	1.5	0.5
10	玄海支部	13	4.4	14	5.3	0.9
11	かすや支部	10	3.4	10	3.8	0.4
12	糸島支部	7	2.4	6	2.3	-0.1
13	北九州支部	19	6.4	17	6.4	0.0
14	ひびき支部	8	2.7	5	1.9	-0.8
15	のおがた支部	21	7.1	15	5.7	-1.4
16	飯塚支部	9	3.0	16	6.1	3.0
17	田川支部	5	1.7	6	2.3	0.6
18	久留米支部	11	3.7	14	5.3	1.6
19	大牟田支部	7	2.4	7	2.7	0.3
20	有明支部	5	1.7	4	1.5	-0.2
21	りょうちく支部	5	1.7	2	0.8	-0.9
	不明	5	1.7	1	0.4	-1.3
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	302	297	265	264	-33

	%	サンプル数	製造業（生産財）	製造業（消費財）	建設業（建築）	建設業（土木）	建設業（設備）	商業・流通業	サービス業（対事業所）	サービス業（対個人）
	合計	265	8.3	7.2	8.7	3.0	6.4	11.7	29.4	25.3
本社地区	福岡地区	166	3.6	8.4	9.0	3.6	6.6	12.0	36.1	20.5
	北九州地区	22	22.7	13.6	18.2	0.0	0.0	4.5	22.7	18.2
	筑豊地区	37	10.8	5.4	0.0	5.4	2.7	16.2	16.2	43.2
	県南地区	31	16.1	0.0	12.9	0.0	12.9	12.9	9.7	35.5
	福岡県外	9	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	44.4	22.2
従業員数規模	0名～5名	98	6.1	2.0	6.1	3.1	5.1	14.3	39.8	23.5
	6名～10名	48	8.3	6.3	14.6	2.1	6.3	8.3	22.9	31.3
	11名～20名	44	2.3	22.7	13.6	0.0	9.1	4.5	27.3	20.5
	21名～30名	21	14.3	9.5	9.5	9.5	9.5	4.8	9.5	33.3
	31名～50名	19	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	21.1	10.5	31.6
	51名～100名	20	25.0	5.0	0.0	5.0	5.0	15.0	25.0	20.0
	100名以上	15	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	20.0	46.7	20.0

2 全体の景況判断

(ア)　全体の景況感

景況感各種 DI(よい－悪い)の状況はどうなっているか

売上・利益・新規受注は数値向上するも景況感、次期予想は横ばい

全体の推移

	今回数値	前回からの変動
景況感 DI	-26.0	0.3
売上高 DI	-3.1	25.0
利益 DI	-7.9	20.5
新規受注 DI	-9.4	16.8
次期予想 DI	2.6	0.6

長期変動

年	月	回	回収数	景況感DI	売上高DI	利益DI	新規受注DI	次期予想	資金繰りDI
2012	Ⅰ	80	338	-19	-6	-17	-1	-3	-8
	Ⅱ	81	437	-17	5	-4	-1	4.5	-6
	Ⅲ	82	502	-21	-6	-15	-3	9.4	-15
	Ⅳ	83	357	-26	-9	-19	-10	-13.6	-16
2013	Ⅰ	84	420	-12	-3	-9	-3	14.4	-16
	Ⅱ	85	378	-8	2	-7	4	26.9	-8
	Ⅲ	86	284	0	10	-2	11	25.9	1
	Ⅳ	87	290	9	26	13	26	27.3	0
2014	Ⅰ	88	300	12	25	14	13	2.3	0
	Ⅱ	89	319	-3	6	-4	-6	20.3	-6
	Ⅲ	90	294	-3	7	-7	0	15.4	0
	Ⅳ	91	319	-2	13	-3	6	3.5	-1
2015	Ⅰ	92	359	2.0	4.3	1.7	5.5	15.7	-2.0
	Ⅱ	93	298	2.4	7.6	5.8	8.0	22.9	7.4
	Ⅲ	94	386	-1.3	6.7	4.2	11.7	21.5	-2.6
	Ⅳ	95	355	11.0	11.8	8.4	16.4	15.5	3.9
2016	Ⅰ	96	424	2.1	10.0	2.9	1.4	9.8	未調査
	Ⅱ	97	347	-4.1	0	-2.1	4.2	13.5	10.0
	Ⅲ	98	449	0.5	12.6	7.2	15.1	25.7	6.3
	Ⅳ	99	382	5.5	9.5	8	12.2	17.2	5.0
2017	Ⅰ	100	287	7.4	8.2	5.3	9.5	20.4	未調査
	Ⅱ	101	409	3.4	14.9	4.7	16	29.5	6.9
	Ⅲ	102	442	6.9	12.6	6.7	10.6	31	5.7
	Ⅳ	103	355	10.3	14.2	11.6	13.8	23.2	12.2
2018	Ⅰ	104	358	6.1	7.3	-0.3	8.8	16.5	5.9
	Ⅱ	105	382	6	13.7	5.3	8.6	25.2	9.5
	Ⅲ	106	273	10.5	12.9	7.3	7.9	24.5	10.7
	Ⅳ	107	296	12.6	14.3	4.4	5.8	17.4	4.1
2019	Ⅰ	108	301	4.3	11.9	5.7	7.5	10.4	1.0
	Ⅱ	109	277	-5.9	0.4	-3.6	-0.4	21.6	3.3
	Ⅲ	110	267	0.5	0.8	-5.4	3.1	11.3	8.7
	Ⅳ	111	307	-1.7	5	-3.6	0.6	8.1	5.9
2020	Ⅰ	112	217	-27.2	-28.1	-28.6	-26.3	-52.2	
	Ⅱ	113	254	-59.4	-59.9	-55.8	-60.5	-22	2.8
	Ⅲ	114	298	-36.9	-44.1	-42	-32.2	-14.5	24.9
	Ⅳ	115	280	-14.5	-24.6	-24	-12.7	-15.4	26.4
2021	Ⅰ	116	302	-26.3	-28.1	-28.4	-26.2	2	16.1
	Ⅱ	117	265	-26	-3.1	-7.9	-9.4	2.6	17.9

2014以前は四捨五入

※資金繰りDIは73回より5段階評価

景況感は現況判断のため、同期比較すると以下のような推移となっている。

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
2012	-19	-17	-21	-26
2013	-12	-8.3	0	9
2014	11.9	-2.9	-3.4	-2.2
2015	2	2.4	-1.3	11
2016	2.1	-4.1	0.5	5
2017	7.4	3.4	6.9	10.3
2018	6.1	6	10.5	12.6
2019	4.3	-5.9	0.5	-1.7
2020	-27	-59	-37	-15
2021	-26	-26		

(イ)　各項目の状況

今期景況感 DI

2021 年 4~6 月期の貴社の景況判断はいかがでしたか。

前回より 0.3pt 改善し-26.0 となった。構成比は前回と似ているが悪い→非常に悪いへ遷移している。

	5.今期景況判断	第116回	DI値	-26.3		第117回	DI値	-26.0		+0.3
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	非常に良い	6	2	17.1		6	2.3	17.4	+0.3	+0.3
2	よい	45	15.1			39	15.1		+0.0	
3	普通	118	39.5	39.5	→	101	39.1	39.1	-0.4	
4	悪い	97	32.4	43.4		79	30.6	43.4	-1.8	+0.0
5	非常に悪い	33	11			33	12.8		+1.8	
	不明	3				7				
	サンプル数（%ベース）	302	299			265	258		-41	

売上高 DI

2021 年 4~6 月期の貴社の「売上高」について、前年同期（2020 年 4~6 月期）に比較してお答えください。

前回の 3.5pt 悪化から今回は 25pt の改善となった。売上の「やや増加」回答が増加傾向にある

	6.対前年同期売上高比較	第116回	DI値	-28.1		第117回	DI値	-3.1		+25.0
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	大幅増加	12	4.1	21.7		16	6.1	32.4	+2.0	+10.7
2	やや増加	52	17.6			69	26.3		+8.7	
3	ほぼ横ばい	84	28.5	28.5	→	84	32.1	32.1	+3.6	
4	やや減少	95	32.2	49.8		61	23.3	35.5	-8.9	-14.3
5	大幅減少	52	17.6			32	12.2		-5.4	
	不明	7				3				
	サンプル数（%ベース）	302	295			265	262		-33	

	景況理由 pickup「売上」	業種
よい	売上高、利益等が 3 か月ぐらいスライドしている。	建設業（土木）
普通	2020 年 4 月～6 月がコロナの影響で売上を落としたため	サービス業（対事業所）
普通	コロナ禍以前からの小口営業活動による新規売上獲得が功を奏しており、既存顧客への売上減を相殺している。	製造業（生産財）
悪い	前年 4 月の売上が極端に多かった（全売上の３０％程度）ために、この様な回答となった。	建設業（設備）
非常に悪い	大手複数社の量産化計画が、コロナにより中止（延期）になったため、売上げに影響。	製造業（生産財）

利益 DI

2021 年 4~6 月期の貴社の「利益」について、前年同期(（2020 年 4~6 月期）に比較してお答えください。

前回 4.4pt 悪化から 20.5pt 改善。利益が「やや増加」回答が増加している。

	7.対前年同期利益比較	第116回	DI値	-28.4		第117回	DI値	-7.9		+20.5
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	大幅増加	14	4.8	20.9		13	5	28.7	+0.2	+7.8
2	やや増加	47	16.1			62	23.7		+7.6	
3	ほぼ横ばい	87	29.8	29.8	→	91	34.7	34.7	+4.9	
4	やや減少	96	32.9	49.3		65	24.8	36.6	-8.1	-12.7
5	大幅減少	48	16.4			31	11.8		-4.6	
	不明	10				3				
	サンプル数（%ベース）	302	292			265	262		-30	

	景況理由 Pickup「益」	
よい	売上高、利益等が 3 か月ぐらいスライドしている。	建設業（土木）
普通	年初は、コロナの影響を少なからず受けて売り上げ、利益共に減少傾向であったが、営業努力等により受注が確保できていた。	製造業（生産財）
悪い	今年度従業員を 2 名採用した（うち一人は営業要員）がそれに対応する受注が取れておらず、結果経費を圧迫し利益が大幅減少した	サービス業（対事業所）

新規受注 DI

2021 年 4~6 月期の貴社の「新規受注」について、直近期（2021 年 1~3 月期）に比較してお答えください。

前回の 13.5pt 悪化から反転し 16.8pt 改善となった。

	8.対直近期新規受注比較	第116回	DI値	-26.2		第117回	DI値	-9.4		+16.8
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	大幅増加	5	1.7	19.5		8	3.1	26.4	+1.4	+6.9
2	やや増加	53	17.8			60	23.3		+5.5	
3	ほぼ横ばい	104	34.9	34.9	→	97	37.7	37.7	+2.8	
4	やや減少	98	32.9	45.7		61	23.7	35.8	-9.2	-9.9
5	大幅減少	38	12.8			31	12.1		-0.7	
	不明	4				8				
	サンプル数（%ベース）	302	298			265	257		-41	

	景況理由 pickup「受注」	
よい	１社の依存率を抑えて他業種の受注を図ることで、市場の影響を受けにくい。１～２年先の案件を受注するためにコロナの影響を受けにくい。	製造業（生産財）
よい	クライアントの元請が官庁関連が多く、予定通り工事関連が進行して、受注に結び付いています。	建設業（建築）
普通	前年がコロナ第１波による受注減であった為	サービス業（対事業所）
普通	1～３月の売り上げ、受注状況が良かったので比較すると悪くなっています。	建設業（設備）
悪い	受注が回復しない	製造業（生産財）
悪い	店舗改修工事の増加と高価格品による受注単価の増加が見られる。	製造業（消費財）

次期予想 DI

2021 年 7～9 月期の貴社の業況をどのように予想されていますか。

前回 13.4pt の改善に対し、今回は 0.6pt 改善とほぼ横ばいとなった。

	10.次期業況予想	第116回	DI値	2		第117回	DI値	2.6		+0.6
No.	カテゴリ	件数	(除不)%			件数	(除不)%		増減	
1	非常によくなる	1	0.3	25.5		5	1.9	22.3	+1.6	-3.2
2	よくなる	74	25.2			53	20.4		-4.8	
3	現在と変わらない	150	51	51	→	151	58.1	58.1	+7.1	
4	悪くなる	57	19.4	23.5		48	18.5	19.7	-0.9	-3.8
5	非常に悪くなる	12	4.1			3	1.2		-2.9	
	不明	8				5				
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	302	294			265	260		-34	

10.次期業況予想 × 5.今期景況判断

上段:度数 下段:%		10.次期業況予想					
		合計	非常によくなる	よくなる	現在と変わらない	悪くなる	非常に悪くなる
5.今期景況判断	合計	253 100.0	5 2.0	53 20.9	146 57.7	46 18.2	3 1.2
	非常に良い	6 100.0	2 33.3	1 16.7	3 50.0	- -	- -
	よい	38 100.0	1 2.6	11 28.9	22 57.9	4 10.5	- -
	普通	99 100.0	1 1.0	18 18.2	68 68.7	12 12.1	- -
	悪い	78 100.0	- -	17 21.8	40 51.3	18 23.1	3 3.8
	非常に悪い	32 100.0	1 3.1	6 18.8	13 40.6	12 37.5	- -

3 主要指標のクロス分析

				DI値増加	DI値減少		
説明	DI値が正	改善の回答が多い		改善増進	改善減退	0か負から正	好転
	DI値が負	悪化の回答が多い		悪化緩和	悪化	0か正から負	悪転

本クロス分析では「よい」-「悪い」の差である DI 値を前回数値と比較した変動と合わせて評価している。

以下の表中カッコ内は前回との差であり太字は前回 DI 値から符号反転したことを示している。

DI 値がプラスである場合はよい回答が多いことを示しているため、前回より値が減少してもプラスである限りは全体の趨勢としてはまだ良であることを表している。

(ア) 景況感別の動向

景況感の良し悪しはその他の指標とどのような関係にあったか

「普通」の層や「非常に悪い」まで含めて多くが指標改善がみられるが、「非常に悪い」の新規受注および次期予想の数値が悪化している。

	第117回	景況件数	景況DI構成比	売上高DI値	利益DI値	新規受注DI値	次期予想DI値	件単位
	有効回答数	258	100%	256	256	251	253	
今期景況感	非常に良い	6	2.3%(0.3)	100(0)	100(0)	83.3(33.3)	**50(50)**	16.7
	よい	39	15.1%(0)	78.9(-2.9)	76.9(0.2)	62.2(19)	21.1(-3.9)	2.6
	普通	101	39.1%(-0.4)	**22(29.7)**	**16(28.2)**	**8.1(17.4)**	**7.1(8.9)**	1.0
	悪い	79	30.6%(-1.8)	-57(32.4)	-62(23.1)	-46.2(22.6)	-5.1(1.1)	1.3
	非常に悪い	33	12.8%(1.8)	-66.7(33.3)	-69.7(17.8)	-74.2(-2.3)	**-15.6(-24.7)**	3.0

(イ)　業種別の動向

業種別の各指標の状況はどのようであったか

商業流通業において売上・利益が好転しているものの次期予想は悪転している。その他サービス業（対個人）売上の好転など改善もみられるが、いまだマイナス域が多い。

	第117回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		258(-40)	262(-32)	262(-29)	257(-40)	260(-33)	
	全体	265	-26(0.5)	-3.1(25.2)	-8(20.5)	-9.3(16.6)	2.7(0.6)	0.4
業種	製造業（生産財）	22	-31.8(-6.8)	-9.5(23.8)	-19(14.3)	4.5(37.9)	9.1(26.5)	4.5
	製造業（消費財）	19	-50(-15)	-36.8(23.2)	-36.8(8.2)	-47.4(-17.4)	-11.1(-1.1)	5.3
	建設業（建築）	23	-8.7(-2)	8.7(8.7)	0(20.7)	9.1(29.1)	8.7(4.8)	4.3
	建設業（土木）	8	-14.3(0)	-12.5(16.1)	-12.5(1.8)	-25(-10.7)	-14.3(-57.1)	12.5
	建設業（設備）	17	-29.4(-41.2)	-23.5(-42.3)	-23.5(-35.3)	-29.4(-23.5)	6.3(41.5)	5.9
	商業・流通業	31	-30(0.8)	16.7(59.9)	3.2(31.8)	-19.4(7)	-12.9(-33.4)	3.2
	サービス業（対事業所）	78	-24(2.9)	-2.6(21.7)	-1.3(26.4)	4.1(24.2)	5.2(3.3)	1.3
	サービス業（対個人）	67	-24.2(19.6)	1.5(41.9)	-7.6(32.1)	-12.5(29.6)	7.6(0.7)	1.5

(ウ)　従業員規模別の動向

従業員規模の大小は各指標でどのような差が表れたか

全体的に改善がみられる中、特に 21 名以上の層において好転がみられるが、10 名以下では次期予想が悪転している。

	第117回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		258(-40)	262(-32)	262(-29)	257(-40)	260(-33)	
	全体	265	-26(0.2)	-3.1(24.8)	-8(20.2)	-9.3(16.9)	2.7(0.6)	0.4
従業員規模	0名～5名	98	-26.9(-0.8)	-11.3(18)	-15.3(13.4)	-11.5(11.1)	-3.2(-5.1)	1.0
	6名～10名	48	-31.3(-11.7)	-10.4(9.6)	-14.6(15.9)	-18.8(20.4)	-4.2(-13.1)	2.1
	11名～20名	44	-41.9(-16.4)	-4.5(22.2)	-11.4(10.5)	-15(1.4)	11.6(11.6)	2.3
	21名～30名	21	-19(20.1)	15(37.7)	5(18.6)	-14.3(8.4)	-9.5(-0.8)	4.8
	31名～50名	19	-10.5(1.5)	21.1(45.1)	10.5(52.2)	0(40)	5.3(-2.7)	5.3
	51名～100名	20	-5(40)	5(47.1)	5.3(47.4)	21.1(66.1)	26.3(42.1)	5.0
	100名以上	15	-14.3(13.5)	14.3(53.2)	14.3(37.8)	7.1(18.3)	20(5)	6.7

(エ)　本社地区別の動向

地区別ではどのような状況であったか

福岡地区の売上をはじめ各指標で悪化緩和がみられるがマイナス域が多い。

	第117回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		258(-41)	262(-33)	262(-30)	257(-41)	260(-34)	
	全体	265	-26(0.5)	-3.1(25.1)	-8(20.4)	-9.3(16.8)	2.7(0.7)	0.4
本社地区	福岡地区	166	-25.9(2.6)	0(27.4)	-6.1(19.4)	-5.6(21.5)	6.2(-2.4)	0.6
	北九州地区	22	-38.1(-0.2)	-22.7(22.1)	-22.7(25.5)	-31.8(-7.7)	-22.7(-5.5)	4.5
	筑豊地区	37	-17.1(-5)	5.6(27.4)	0(15.6)	-10.8(10.4)	-2.7(-15.2)	2.7
	県南地区	31	-32.3(-2.3)	-12.9(23.8)	-23.3(28.4)	-16.7(16.7)	-6.5(24.6)	3.2
	福岡県外	9	-11.1(-39.7)	-11.1(-39.7)	11.1(-5.6)	12.5(12.5)	55.6(72.2)	11.1

4 経営上の問題点

貴社において、現在の経営上の問題点の内、特に厳しいもの3項目までを選んでご回答ください。

民間需要停滞がやや下がった一方、原材料や仕入関係が増加している。。

■問題点自由回答

コロナ関係

1. コロナ　　サービス業（対個人）
2. コロナが施設から出たら、大きな損害となる　　サービス業（対個人）
3. コロナ休業　サービス業（対個人）
4. コロナによる事業（売上）に関わる影響は特になし。　サービス業（対事業所）
5. 新型コロナウィルスの感染者増　　サービス業（対事業所）

コロナ以外

1. メーカーからの手数料引き下げ、設備投資要求、詐欺・悪徳業者の急増　　サービス業（対個人）
2. 感染対策の一環で班分け営業を行っており、マンパワーが足りていない　　サービス業（対個人）
3. 緊急事態宣言下での店舗休業要請による売り上げ停止 サービス業（対個人）
4. 行政による２年毎の診療報酬・調剤報酬・薬価改定、設備の老朽化　　サービス業（対個人）
5. 現状の脱皮　サービス業（対事業所）
6. 事業の遅れ、納品時期の延期　　サービス業（対事業所）
7. 従業員共育　サービス業（対事業所）
8. 新規受注を増やすこと　サービス業（対事業所）
9. 人件費の上昇　　サービス業（対事業所）
10. 売上の減少　サービス業（対事業所）
11. 余剰人員をなんとか、雇用調整助成金でキープしているものの、このまま売り上げの減少が続くと、厳しい　サービス業（対事業所）
12. 天候　　製造業（生産財）

本社地区別の経営上の問題点

%	全体	福岡地区	北九州地区	筑豊地区	県南地区	福岡県外
回答件数	265	166	22	37	31	9
民間需要の停滞	35.8	34.9	40.9	29.7	51.6	11.1
人材獲得難	26.0	22.3	36.4	29.7	22.6	66.7
同業者間の価格競争激化	21.5	23.5	22.7	18.9	16.1	11.1
従業員不足	18.5	17.5	13.6	16.2	19.4	55.6
取引先の減少	16.2	17.5	13.6	18.9	12.9	0.0
原料・材料等の高騰	15.1	13.3	22.7	10.8	22.6	22.2
仕入れ単価上昇	14.7	14.5	13.6	24.3	9.7	0.0
熟練技術者の確保難	12.1	13.3	4.5	10.8	12.9	11.1
官公需の停滞	10.9	13.3	9.1	2.7	12.9	0.0
税負担の圧迫	9.4	8.4	13.6	16.2	3.2	11.1
新規参入の増加	6.8	7.2	4.5	5.4	9.7	0.0
協力業者の確保難	6.8	7.2	9.1	2.7	9.7	0.0
販売先からの値下げ要請	5.7	6.6	9.1	5.4	0.0	0.0
原材料の入荷難	5.3	3.6	9.1	8.1	6.5	11.1
大企業進出による競争激化	4.9	5.4	0.0	10.8	0.0	0.0
仕入れ先からの値上げ要請	3.4	3.6	0.0	5.4	3.2	0.0
事業資金の借り入れ難	2.6	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
金利負担の増加	0.8	0.6	0.0	0.0	3.2	0.0
輸入品による圧迫	0.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	10.6	10.2	9.1	13.5	9.7	11.1

各業種別回答数に対するパーセント

色付きセルは業種別の上位五項目

業種別の経営上の問題点

%	全体	製造業（生産財）	製造業（消費財）	建設業（建築）	建設業（土木）	建設業（設備）	商業・流通業	サービス業（対事業所）	サービス業（対個人）
回答件数	***265***	***22***	***19***	***23***	***8***	***17***	***31***	***78***	***67***
民間需要の停滞	35.8	45.5	68.4	26.1	37.5	41.2	35.5	37.2	23.9
人材獲得難	26.0	27.3	15.8	21.7	25.0	35.3	29.0	25.6	26.9
同業者間の価格競争激化	21.5	22.7	21.1	26.1	0.0	29.4	32.3	20.5	16.4
従業員不足	18.5	4.5	10.5	17.4	37.5	29.4	12.9	20.5	20.9
取引先の減少	16.2	18.2	31.6	4.3	0.0	0.0	29.0	25.6	4.5
原料・材料等の高騰	15.1	54.5	26.3	39.1	0.0	17.6	16.1	1.3	7.5
仕入れ単価上昇	14.7	9.1	21.1	30.4	12.5	35.3	29.0	2.6	11.9
熟練技術者の確保難	12.1	22.7	10.5	8.7	37.5	23.5	0.0	11.5	10.4
官公需の停滞	10.9	13.6	15.8	8.7	50.0	11.8	3.2	14.1	4.5
税負担の圧迫	9.4	0.0	5.3	4.3	0.0	11.8	6.5	14.1	11.9
新規参入の増加	6.8	0.0	5.3	0.0	0.0	5.9	9.7	6.4	11.9
協力業者の確保難	6.8	0.0	10.5	26.1	25.0	11.8	0.0	6.4	1.5
販売先からの値下げ要請	5.7	4.5	15.8	13.0	0.0	0.0	3.2	9.0	0.0
原材料の入荷難	5.3	0.0	5.3	26.1	0.0	5.9	6.5	2.6	3.0
大企業進出による競争激化	4.9	0.0	5.3	0.0	0.0	5.9	9.7	3.8	7.5
仕入れ先からの値上げ要請	3.4	0.0	10.5	4.3	0.0	0.0	9.7	2.6	1.5
事業資金の借り入れ難	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	4.5
金利負担の増加	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
輸入品による圧迫	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
その他	10.6	4.5	5.3	0.0	12.5	0.0	0.0	16.7	17.9

各業種別回答数に対するパーセント

色付きセルは業種別の上位五項目

5 その他の調査項目

(ア)　資金繰り

	11.資金繰り	第116回DI	16.0		第117回DI	17.9	1.9
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	構成比増減
1	余裕あり	58	19.4		54	20.5	1.1
2	やや余裕あり	58	19.4		47	17.9	-1.5
3	普通	115	38.5		108	41.1	2.6
4	やや窮屈	48	16.1		40	15.2	-0.9
5	窮屈	20	6.7		14	5.3	-1.4
	不明	3			2	0	0.0
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	302	299		265	263	-36

(イ)　新卒採用

2021 年 4 月入社の新卒採用

	14.4月入社の新卒採用	（ＳＡ）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	1名採用	33	12.5	12.5
2	2名採用	11	4.2	4.2
3	3名採用	8	3	3
4	4名採用	0	0	0
5	5名以上採用	6	2.3	2.3
6	採用なし	205	77.9	77.4
	不明	2		0.8
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	265	263	100

来年度の採用予定

	15.来年度の採用予定	（ＳＡ）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	1名採用	42	16	15.8
2	2名採用	40	15.3	15.1
3	3名採用	17	6.5	6.4
4	4名採用	2	0.8	0.8
5	5名以上採用	7	2.7	2.6
6	採用なし	154	58.8	58.1
	不明	3		1.1
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	265	262	100

(ウ)　賞与

夏の賞与予定

	16.夏の賞与予定	（ＳＡ）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	支給する	165	62.5	62.3
2	支給しない	32	12.1	12.1
3	もともと賞与はない	34	12.9	12.8
4	わからない	33	12.5	12.5
	不明	1		0.4
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	265	264	100

支給基準

	17.支給基準	（ＳＡ）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	2ヶ月以上	15	9.2	9.1
2	1.5～2ヶ月未満	45	27.6	27.3
3	1～1.5ヶ月未満	59	36.2	35.8
4	1ヶ月未満	36	22.1	21.8
5	寸志程度	8	4.9	4.8
	不明	2		1.2
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	165	163	100

(エ)　障がい者雇用

6月1日時点での障がい者雇用

	18.障がい者雇用の実施（6月1日時点）	（ＳＡ）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	実施している	38	14.6	14.3
2	実施していない	222	85.4	83.8
	不明	5		1.9
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	265	260	100

雇用人数

	19.障がい者の雇用人数	（数量）	
No.	階級値	度数	%
1	1名	20	52.6
2	2名	9	23.7
3	3名	3	7.9
4	4名	1	2.6
5	5名以上	5	13.2
6	合計	38	100

今後の雇用の検討

	20.障がい者雇用の検討	（ＳＡ）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	検討している	29	13.3	13.1
2	検討していない	189	86.7	85.1
	不明	4		1.8
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	222	218	100

(オ)　特別支援学校などから職場実習の受け入れ

	21.特別支援学校などから職場実習の受け入れ	（ＳＡ）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	実施している	18	7.5	6.8
2	実施していないが、受け入れ可	35	14.6	13.2
3	受け入れは難しい	187	77.9	70.6
	不明	25		9.4
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	265	240	100

No.　　受け入れの難しい理由 ◆(1.業種 2.従業員数 3.本社所在地 5.今期景況判断)

1. 採用自体、予定していない ◆(建設業（土木） 0 名～5 名 福岡地区 悪い)
2. 障害の程度により雇用可能 ◆(商業・流通業 31 名～50 名 福岡地区 よい)
3. 就労継続支援 A 型事業所に進出。 ◆(サービス業（対事業所） 11 名～20 名 県南地区 普通)
4. 障害者就労支援機関であるため。 ◆(サービス業（対個人） 0 名～5 名 福岡地区 普通)
5. 検討する事は可能だと考えます。 ◆(サービス業（対個人） 31 名～50 名 筑豊地区 悪い)
6. 状況により検討 ◆(製造業（生産財） 51 名～100 名 福岡地区 普通)
7. 未検討 ◆(サービス業（対事業所） 6 名～10 名 福岡地区 普通)

6 経営指針書について

作成の状況

経営指針書を作成していますか。また、指針書に基づいた経営を実践していますか。

	経営指針書の作成と実践	第116回			第117回		増減
No.	カテゴリ	件数	(除不)%		件数	(除不)%	
1	作成し実践している	97	32.6		95	36.7	4.1
2	作成しているが実践なし	72	24.2		57	22	-2.2
3	作成に至っていない	115	38.6		92	35.5	-3.1
4	作成する必要はない	14	4.7		15	5.8	1.1
	不明	4	0		6	0	
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	302	298		265	259	-39

検証状況

「作成し実践している」と回答された方にお尋ねします。毎月、検証（チェック）していますか。

	20.経営指針書の検証について	（ＳＡ）		
No.	カテゴリ	件数	(除不)%	(全体)%
1	毎月検証している	33	35.5	12.5
2	毎月ではないが検証している	41	44.1	15.5
3	年に1回は検証している	18	19.4	6.8
4	全く検証していない	1	1.1	0.4
	不明	172		64.9
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	265	93	100

経営指針書の成果

経営指針書の活用は今期景況感の回答にどのように関係しているか

各指標 DI の状況

	第117回	景況件数	景況DI	売上DI	利益DI	受注DI	次期予想DI	件単位
	クロス回答数		252(-43)	256(-36)	256(-32)	251(-43)	256(-34)	
	全体	252	-26.6(0.2)	-3.9(24.9)	-8.2(21)	-9.6(17)	3.5(1.4)	0.4
指	作成し、実践している	93	-12.9(13.4)	**10.8(43.7)**	**5.4(34.5)**	**4.4(25.7)**	5.3(-5.1)	1.1
針	作成しているが実践でき	55	-38.2(-12.8)	-28.6(-4.6)	-28.1(6.2)	-29.8(-2)	-7(-1.3)	1.8
書	作成に至っていない	89	-31.5(-6.2)	-2.2(21.7)	-6.5(16.7)	-10.1(14.4)	8.9(7.1)	1.1
別	作成する必要はない	15	-40(10)	-13.3(51)	-26.7(27.2)	-13.3(58.1)	**0(15.4)**	6.7

7 自由回答項目

(ア)　景況理由

	5.今期景況判断	1.業種	2.従業員数	3.本社所在地	9.景況判断理由
1	非常に良い	製造業（消費財）	11 名～20 名	筑豊地区	業界の好景気
2	非常に良い	建設業（建築）	11 名～20 名	福岡地区	こんな時代、社長と役員がひとつになる。モチベーションを上げました。
3	非常に良い	サービス業（対事業所）	51 名～100 名	福岡地区	福岡県の建設・解体現場増によりレンタル需要の増加。
4	非常に良い	サービス業（対事業所）	51 名～100 名	県南地区	地道な営業活動と信頼の積み重ね。
5	非常に良い	サービス業（対事業所）	100 名以上	福岡地区	新規顧客開拓及び収支管理強化
6	非常に良い	サービス業（対個人）	0 名～5 名	福岡県外	コロナにより自宅で過ごされるお客様が増え時間に余裕が出来たからだと思います。
7	よい	製造業（生産財）	31 名～50 名	福岡地区	取引先都合により
8	よい	製造業（生産財）	51 名～100 名	福岡地区	1社の依存率を抑えて他業種の受注を図ることで、市場の影響を受けにくい。1～2年先の案件を受注するためにコロナの影響を受けにくい。
9	よい	製造業（消費財）	21 名～30 名	福岡地区	コロナの影響により中止、延期になっていた物件が動き出した為。
10	よい	建設業（建築）	0 名～5 名	福岡地区	楽天 5G 設置局の工事増加による為
11	よい	建設業（建築）	6 名～10 名	福岡地区	クライアントの元請が官庁関連が多く、予定通り工事関連が進行して、受注に結び付いています。
12	よい	建設業（建築）	6 名～10 名	北九州地区	コロナ禍において昨年 2 月以降、飲食店などの新規出店やリニューアル改装などを施主が大幅に見合わせていたが昨年 11 月頃から少しづつ案件も増えた為である。しかしながら、昨年度の4～6 月は緊急事態宣言下のため必然的に売り上げは低くなっていた為、増加は必然的である。
13	よい	建設業（建築）	11 名～20 名	福岡地区	昨年来のコロナの影響で延期や見直し案件が、ここにきて着工する兆しが見えて来た
14	よい	建設業（建築）	31 名～50 名	福岡地区	ブランディングができた
15	よい	建設業（土木）	31 名～50 名	福岡地区	売上高、利益等が 3 か月ぐらいスライドしている。
16	よい	商業・流通業	51 名～100 名	筑豊地区	輸出により製造業の立ち直り。
17	よい	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	地道な経営努力
18	よい	サービス業	0 名～5 名	福岡地区	新たな販路ができたため

		（対事業所）			
19	よい	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡県外	営業活動
20	よい	サービス業（対事業所）	51名～100名	福岡地区	介護事業が伸びた
21	よい	サービス業（対個人）	0名～5名	県南地区	ネット通販事業の需要増
22	よい	サービス業（対個人）	0名～5名	県南地区	家族単位のファミリービジネスがちょうど当社のビジネスモデルと合致した。
23	よい	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	従業員の頑張り
24	よい	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	インターネットでの評価が上がった事と口コミ紹介の新規顧客が増えた。
25	よい	サービス業（対個人）	6名～10名	県南地区	商品の品揃えと営業成果
26	よい	サービス業（対個人）	31名～50名	筑豊地区	昨年緊急事態宣言中だったので比較すると大幅に増加している
27	よい	サービス業（対個人）	100名以上	北九州地区	主な事業内容の介護福祉事業において、コロナウィルス感染症の影響はあまりなく、コロナ以前の事業計画通りに推移することができた。
28	普通	製造業（生産財）	0名～5名	県南地区	去年注文が無かった分が、今年になって戻ってきつつある
29	普通	製造業（生産財）	21名～30名	筑豊地区	成り行き。弊社は前年同月比の考えは有りません。受注生産業ではナンセンス。商売人ではありません。
30	普通	製造業（生産財）	21名～30名	県南地区	民需の設備投資が戻ってこない。前期予定の公共工事が延びた分があるが、役所関係からの発注が遅れている。元々、4～6月は閑散期であることも要因。
31	普通	製造業（生産財）	31名～50名	福岡地区	昨年より引き合いも確実に増えている。全体的に忙しくなっている。
32	普通	製造業（生産財）	51名～100名	福岡地区	年初は、コロナの影響を少なからず受けて売り上げ、利益共に減少傾向であったが、営業努力等により受注が確保できていた。
33	普通	製造業（生産財）	51名～100名	県南地区	コロナ禍以前からの小口営業活動による新規売上獲得が功を奏しており、既存顧客への売上減を相殺している。
34	普通	製造業（消費財）	0名～5名	福岡地区	ウッドショックとやらで仕入れ単価が上昇している。
35	普通	建設業（建築）	6名～10名	北九州地区	普通なので横ばいです。
36	普通	建設業（建築）	21名～30名	北九州地区	人の移動が少ないため
37	普通	建設業（土木）	21名～30名	福岡地区	安定的に受注できている。
38	普通	建設業（土木）	51名～100名	福岡地区	今のところコロナの影響を浮いけていない。
39	普通	建設業（設備）	0名～5名	福岡地区	毎年、この時期は仕事が無い為

40	普通	建設業(設備)	0名～5名	福岡地区	安定した仕事の受注。
41	普通	建設業(設備)	0名～5名	福岡地区	4月5月は横ばいか少し良かったが6月は大幅ダウンです、コロナの影響で県外に出れないのが響いてる
42	普通	建設業(設備)	0名～5名	県南地区	1～3月の売り上げ、受注状況が良かったので比較すると悪くなっています。
43	普通	建設業(設備)	6名～10名	福岡地区	保守から発生する工事のため安定している。
44	普通	建設業(設備)	6名～10名	福岡地区	公共工事、民間工事受注増加
45	普通	建設業(設備)	11名～20名	福岡地区	コロナ等による外出自粛
46	普通	建設業(設備)	21名～30名	県南地区	新築物件が増えてきた
47	普通	建設業(設備)	100名以上	福岡県外	材料入荷遅延
48	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	新規問い合わせの減少
49	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	現在倉庫賃貸のみになった為です。
50	普通	商業・流通業	0名～5名	福岡地区	昨年はコロナの影響が大きかった。一昨年と比べると今年はまだ落ちているが、だいぶ回復した。
51	普通	商業・流通業	0名～5名	県南地区	新規客が増加したため。
52	普通	商業・流通業	6名～10名	福岡地区	他社からの切り替え受注
53	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新年度となり、入札が開始されたから。
54	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	既存客先への訪問営業が出来ず、先年の落ち込みをカバー出来ていない。
55	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナの影響
56	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	前年がコロナ第1波による受注減であった為
57	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナの影響
58	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新規の顧客が減少し既存客のニーズを集めている状況
59	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	2度の緊急事態宣言の影響
60	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	新規の受注があった
61	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	社員が増えて、パートナー事業展開に転換した為
62	普通	サービス業(対事業所)	0名～5名	福岡地区	コロナによる景気悪化、弊社営業不足
63	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	めぐり合わせ
64	普通	サービス業(対事業所)	6名～10名	福岡地区	活動が評価されたため
65	普通	サービス業	6名～10名	福岡地区	従業員が1名増えたことによるか、あまりコロナの影響を受けていないから。

		(対事業所)			
66	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	昨年はコロナで激減したから。
67	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	SES事業が重たる事業内容のため、要員の増加が無いので横ばい
68	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	福岡地区	コロナ関係の商材で
69	普通	サービス業(対事業所)	11名～20名	県南地区	地域経済が停滞している。
70	普通	サービス業(対事業所)	51名～100名	福岡地区	新規の受注による
71	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	2020年4月～6月がコロナの影響で売上を落としたため
72	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	福岡地区	新型コロナの影響で新規イベントの中止や延期になり現状の通りとなった。
73	普通	サービス業(対事業所)	100名以上	北九州地区	大手電機メーカーの発注がコロナの影響で減少した為
74	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	コロナの影響で新規利用者が増えなかった。
75	普通	サービス業(対個人)	0名～5名	福岡地区	不景気(コロナ)
76	普通	サービス業(対個人)	6名～10名	北九州地区	お客様の高齢化に伴う売り上げの減少
77	普通	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡地区	事業所を増設した為
78	普通	サービス業(対個人)	21名～30名	福岡地区	緊急事態宣言のため。
79	普通	サービス業(対個人)	21名～30名	筑豊地区	福祉施設なので……変わりなく
80	普通	サービス業(対個人)	31名～50名	筑豊地区	昨年比で継続顧客に大きな変化がなかったため。
81	普通	サービス業(対個人)	51名～100名	福岡地区	昨年はコロナの影響をうけた為
82	普通	サービス業(対個人)	100名以上	福岡地区	1～2年前に新規開設を行い、売り上げ確保。
83	悪い	製造業(生産財)	0名～5名	福岡地区	コロナ禍で本当はもっと悪いと思いますが、これで留まっているのは新規開拓、リテール営業に徹してるからだと思います。
84	悪い	製造業(生産財)	0名～5名	筑豊地区	受注が回復しない
85	悪い	製造業(生産財)	21名～30名	県南地区	昨年と比較すると若干上向いたものの、それでも悪いことに変わりはない。

86	悪い	製造業（生産財）	51 名～100 名	北九州地区	基本の仕事量が低減したので、新規を増やした。
87	悪い	製造業（消費財）	11 名～20 名	福岡地区	新型コロナ感染による「緊急事態宣言」などの影響
88	悪い	製造業（消費財）	11 名～20 名	福岡地区	昨年度はコロナの影響はさほど受けていませんが、新年度は影響が出てきた。又計画されている仕事が先延ばしになった。
89	悪い	製造業（消費財）	11 名～20 名	福岡地区	新型コロナウイルス拡大の影響。
90	悪い	製造業（消費財）	31 名～50 名	福岡地区	店舗改修工事の増加と高価格品による受注単価の増加が見られる。
91	悪い	製造業（消費財）	51 名～100 名	福岡地区	経済の動きが鈍い。
92	悪い	建設業（建築）	6 名～10 名	福岡地区	商談の延期（主にコロナ要因）
93	悪い	建設業（建築）	11 名～20 名	福岡地区	新型コロナの影響です
94	悪い	建設業（建築）	11 名～20 名	県南地区	緊急事態宣言が出ていると外食産業が落ちる為、また、量販店は活発な為。
95	悪い	建設業（建築）	21 名～30 名	福岡地区	昨年の 4 月は、第 1 回目の緊急事態宣言が出され在宅勤務や外出自粛等で極端に仕事量が減少したため
96	悪い	建設業（土木）	0 名～5 名	福岡地区	作業員不足
97	悪い	建設業（土木）	6 名～10 名	筑豊地区	官公庁の受注が少なく、民間の仕事は受注件数はあるが少規模（少額）なものが多く、昨年度同時期と比較し売り上げ減となっている。
98	悪い	建設業（設備）	0 名～5 名	県南地区	建設業界も資材の高騰とコロナウイルスの影響が出て来たようだ。
99	悪い	建設業（設備）	11 名～20 名	福岡地区	コロナ禍により工場関係、設備投資保留の為。
100	悪い	建設業（設備）	11 名～20 名	福岡地区	コロナの影響。
101	悪い	建設業（設備）	31 名～50 名	筑豊地区	前年4月の売上が極端に多かった（全売上の30％程度）ために、この様な回答となった。
102	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	福岡地区	コロナウイルスの為対面営業が出来ない
103	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	福岡地区	部品工場の火災により、供給遅れとコロナの影響大
104	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	筑豊地区	既存の顧客がコロナウイルスの影響を受けており、間接的に影響が理由。
105	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	筑豊地区	緊急事態宣言の影響
106	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	県南地区	新しいメーカーの商品の案内により新規顧客獲得、値上げの商品に絡んで他のメーカーからの乗り換えで納品が可能となる
107	悪い	商業・流通業	6 名～10 名	福岡地区	取扱い商品の相場上昇
108	悪い	商業・流通業	11 名～20 名	福岡地区	複合的に様々な理由が重なった結果
109	悪い	商業・流通業	11 名～20 名	北九州地区	コロナで設備投資が抑制されている。
110	悪い	商業・流通業	31 名～50 名	福岡地区	4 月までは好調であったが、5 月に入り急にユーザーの仕事量が減っている。
111	悪い	商業・流通業	31 名～50 名	筑豊地区	コロナの影響

112	悪い	商業・流通業	100 名以上	福岡地区	コロナ禍で需要減少。
113	悪い	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	コロナの影響
114	悪い	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	コロナによる業務停滞
115	悪い	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	コロナ禍のため
116	悪い	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	コロナ禍による景気低迷
117	悪い	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	コロナ影響により新規開拓できず
118	悪い	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	海外企業との取引が不可のため。
119	悪い	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	今年度従業員を 2 名採用した（うち一人は営業要員）がそれに対応する受注が取れておらず、結果経費を圧迫し利益が大幅減少したコロナの影響を大きく受けるビジネスモデルではないため外部要因ではないと考える採用からしばらくは育成期間と見込んでいたので想定外の結果というわけでもない
120	悪い	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	北九州地区	コロナ過で企業の予算が削減されている
121	悪い	サービス業（対事業所）	6 名～10 名	福岡地区	コロナの影響と思われる
122	悪い	サービス業（対事業所）	6 名～10 名	福岡地区	公的機関の受注は、横ばいだが、対民間企業の売り上げ（特に派遣事業）が、大幅減少で派遣の大手企業の雇止めが原因。
123	悪い	サービス業（対事業所）	11 名～20 名	福岡地区	緊急事態宣言が解除され 4 月から持ち直しの兆しが見えたが 5 月に三度発令されて、業績は低迷したまま推移している。
124	悪い	サービス業（対事業所）	11 名～20 名	福岡地区	コロナによる影響
125	悪い	サービス業（対事業所）	21 名～30 名	福岡地区	商材提供元のシステム不具合のため。
126	悪い	サービス業（対事業所）	31 名～50 名	福岡地区	新型コロナウィルス感染症により人の流れが停滞したため。
127	悪い	サービス業（対事業所）	51 名～100 名	福岡県外	コロナ禍で休業が増えた。
128	悪い	サービス業（対事業所）	100 名以上	福岡地区	新年度となったための時期的なもの
129	悪い	サービス業（対事業所）	100 名以上	県南地区	新規案件がない
130	悪い	サービス業（対個人）	0 名～5 名	福岡地区	コロナの影響による顧客の減少
131	悪い	サービス業（対個人）	0 名～5 名	筑豊地区	コロナの影響

132	悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡県外	緊急事態宣言のためオープンを先延ばしにしたため
133	悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	昨年はコロナの影響があったが今年は少ないので
134	悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	お客様との訪問・面談数の減少（感染症で予定の3割がキャンセルとなる）
135	悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	競合の影響。
136	悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	福岡地区	着物に関わる業種の為、冠婚葬祭や人々が集まるパーティーなどの縮小開催や自粛の影響が出ていると思われます。
137	悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	筑豊地区	建築資材の高騰・入手困難
138	悪い	サービス業（対個人）	6名～10名	県南地区	宣伝力不足
139	悪い	サービス業（対個人）	11名～20名	筑豊地区	コロナによる需要低下
140	悪い	サービス業（対個人）	11名～20名	県南地区	個人消費の不安による落ち込みを感じる
141	悪い	サービス業（対個人）	31名～50名	福岡地区	コロナの影響
142	悪い	サービス業（対個人）	31名～50名	筑豊地区	利用者数・利用単価の減少
143	非常に悪い	製造業（生産財）	0名～5名	北九州地区	大手複数社の量産化計画が、コロナにより中止（延期）になったため、売上げに影響。
144	非常に悪い	製造業（生産財）	6名～10名	県南地区	新規受注工事の減少
145	非常に悪い	製造業（消費財）	0名～5名	福岡地区	コロナですかね。
146	非常に悪い	製造業（消費財）	6名～10名	福岡地区	販売先の減少
147	非常に悪い	製造業（消費財）	11名～20名	福岡地区	コロナ禍で柱の事業が落ちているのと同時に、新事業が伸び悩んでいる。
148	非常に悪い	製造業（消費財）	21名～30名	福岡地区	コロナ禍の影響による民需の激減と営業活動の制限による案件の減少。
149	非常に悪い	建設業（建築）	0名～5名	福岡地区	コロナの影響と同業者間の価格競争
150	非常に悪い	建設業（設備）	51名～100名	福岡地区	発注元の投資控え
151	非常に悪い	商業・流通業	21名～30名	県南地区	コロナ禍の緊急事態宣言での影響。
152	非常に悪い	サービス業（対事業所）	0名～5名	福岡地区	コロナ禍の為。
153	非常に悪い	サービス業（対事業所）	6名～10名	福岡地区	業界全体の事業規模が小さくなっている。

154	非常に悪い	サービス業（対事業所）	11名～20名	福岡地区	コロナ
155	非常に悪い	サービス業（対事業所）	100名以上	福岡地区	コロナ禍
156	非常に悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡地区	コロナ禍
157	非常に悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	福岡地区	コロナウィルス架、緊急事態宣言の発令、不要不出外出を控えて自粛営業の為
158	非常に悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	北九州地区	緊急事態宣言により、ほぼ休業してるため。
159	非常に悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	県南地区	緊急事態宣言下による影響が大
160	非常に悪い	サービス業（対個人）	0名～5名	県南地区	コロナ禍で需要の停滞
161	非常に悪い	サービス業（対個人）	11名～20名	福岡地区	緊急事態宣言による店舗の自粛要請
162	非常に悪い	サービス業（対個人）	51名～100名	福岡地区	緊急事態宣言による関係機関及び利用者の活動停止。
163	非常に悪い	サービス業（対個人）	51名～100名	北九州地区	昨年は、要請により休業していたから
164	-	製造業（消費財）	11名～20名	北九州地区	前回緊急事態宣言下よりは良いが、アパレル自体が外出自粛の影響を今も大きく受けているため。
165	-	サービス業（対事業所）	0名～5名	筑豊地区	助成金の手続き業務がなくなったため。

(イ)　コロナにかかわる具体的状況

No	5.今期景況判断	1.業種	2.従業員数	3.本社所在地	回答
1	非常に良い	建設業(建築)	11 名～20 名	福岡地区	先月養成車が社員から出ましたが、社員みんなが本気で考え前向きに働い時に知恵が出て来て、多くのことが改善した。
2	非常に良い	サービス業(対事業所)	100 名以上	福岡地区	特に直接的には影響ありません
3	非常に良い	サービス業(対個人)	0 名～5 名	福岡県外	特に無し
4	よい	製造業(生産財)	31 名～50 名	福岡地区	全体的に停滞しているが、特に大きな影響は無し
5	よい	建設業(建築)	6 名～10 名	福岡地区	特にありません。
6	よい	建設業(建築)	6 名～10 名	北九州地区	木材(外国材)の高騰。理由として全世界的にコロナウィルスが蔓延しアメリカ本土でも働き方が変わりテレワークの大幅な増加から郊外での戸建て住宅取得が多くなっている。それに拍車をかけるように金利も安くなっており。自国での消費が伸びている。
7	よい	建設業(建築)	11 名～20 名	福岡地区	滞っていた受注がまとまって動き出したことで、従業員不足や協力業者確保が難しく生産量の平準化が難しい。
8	よい	建設業(建築)	31 名～50 名	福岡地区	ウッドショックがどのように影響するかわからない
9	よい	建設業(土木)	31 名～50 名	福岡地区	公共、民間とも仕事量が減少傾向にある。
10	よい	商業・流通業	31 名～50 名	福岡地区	コロナで人材は動いているが手数料を払っても獲得したい人材が少ないので苦戦
11	よい	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	リモートワークまではできないが、ZOOM による業績検討や報告会は頻繁に行うようになった。
12	よい	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	対面ビジネスの機会が減ったため、新規客の集客を考える必要がある
13	よい	サービス業(対個人)	0 名～5 名	県南地区	フリーカメラマンなどデータ販売と人材獲得が難しい。
14	よい	サービス業(対個人)	6 名～10 名	福岡地区	コロナでの業務の直接の影響は少ないが取引先や顧客の仕事量が減少しており、この先は不安がある。
15	よい	サービス業(対個人)	6 名～10 名	福岡地区	余り無い
16	よい	サービス業(対個人)	6 名～10 名	県南地区	小売販売ですので、感染感染予防に苦慮してます。
17	よい	サービス業(対個人)	100 名以上	北九州地区	コロナ関連の助成金を多く頂いたが、それに対する経費増があまり多くなく、結果として雑収入(利益)が増加したため納税額が増加した。介護業界の慢性的な人手不足があり、対応策としての外国人労働者の受け入れがコロナによる入国制限等で遅れている。
18	普通	製造業(生産財)	0 名～5 名	筑豊地区	特になし
19	普通	製造業(生産財)	0 名～5 名	県南地区	コロナにより人流が制限されたので、物の動きも悪くなった
20	普通	製造業(生産財)	6 名～10 名	北九州地区	同上
21	普通	製造業(生産財)	21 名～30 名	県南地区	営業活動の制限による顧客との関係構築が難しいことと物件商談の進捗遅れによる機会損失。コロナ渦における社内組織改善が進まない。

22	普通	製造業（生産財）	31 名～50 名	福岡地区	雇用調整助成金に大いに助けられています。
23	普通	製造業（生産財）	51 名～100 名	福岡地区	事業拡大及び仕事の負荷軽減を図るべくも技術者の採用に苦慮している。また、コロナによる営業活動の制限や受注減による価格競争の影響も出てきている。
24	普通	製造業（生産財）	51 名～100 名	県南地区	コロナ禍にもかかわらず、大卒予定者からの反応は皆無
25	普通	製造業（消費財）	0 名～5 名	福岡地区	ウッドショックが起こっているらしいです。
26	普通	製造業（消費財）	11 名～20 名	福岡地区	県をまたぐ営業、飛行機・新幹線での出張困難。
27	普通	製造業（消費財）	11 名～20 名	北九州地区	顧客および仕入れ先各社で販売方針や組織改編などの大幅な改革路線を打ち出し実行している。周回遅れにならないように変化についていかなければならない。
28	普通	建設業（建築）	6 名～10 名	北九州地区	なし
29	普通	建設業（土木）	21 名～30 名	福岡地区	コロナの影響はほとんどない。
30	普通	建設業（設備）	0 名～5 名	福岡地区	コロナで現場仕事の遅れが出て困っている。
31	普通	建設業（設備）	0 名～5 名	福岡地区	受注はしてるが、福岡はコロナが多いから工事日の先延ばしが響いてる
32	普通	建設業（設備）	0 名～5 名	県南地区	コロナの影響は直接的にはないが、市内の景況はよくない感じがする。
33	普通	建設業（設備）	6 名～10 名	福岡地区	弊社の取引先、現場においてコロナ禍による施工中断・中止等の影響が無かった為
34	普通	建設業（設備）	21 名～30 名	県南地区	医療、福祉施設への出入りが大変
35	普通	商業・流通業	0 名～5 名	福岡地区	中国で生産した製品を輸入しているので、コロナの再発と政情不安があり安定的供給が不安視される。
36	普通	商業・流通業	6 名～10 名	福岡地区	既存取引先が食品卸・製造関係が多いため、販売店・居酒屋休業により、商品動かなく、製造調整による。納品数0又で減少
37	普通	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	コロナによる取引先の予算減の見込み。人材確保したいが、現利益では確保が困難な状況。
38	普通	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	コロナの影響なし
39	普通	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	企業の異動が少なく受注が減少している。
40	普通	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	具体的な売上拡大提案が対面でないため、難しい面がある。
41	普通	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	受注の中止、延期が増える
42	普通	サービス業（対事業所）	0 名～5 名	福岡地区	特にありません
43	普通	サービス業（対事業所）	6 名～10 名	福岡地区	あまりないが、取引先の経営状態が良くないと問題になる。
44	普通	サービス業（対事業所）	11 名～20 名	福岡地区	コロナ禍による案件数が減っていることや、全体的な単価が下がりつつある
45	普通	サービス業（対事業所）	11 名～20 名	県南地区	老舗の店舗を直撃。
46	普通	サービス業（対事業所）	51 名～100 名	福岡地区	コロナ感染または要接触者となり急な欠勤となることで人材配置に窮する
47	普通	サービス業（対事業所）	100 名以上	福岡地区	顧客の事業計画の延期や中止による予算執行の停止。社内における感染者の発生による営業所の洗浄による業務中断。

48	普通	サービス業(対事業所)	100 名以上	福岡地区	新規取引の契約が延び延びになっている。
49	普通	サービス業(対個人)	0 名～5 名	福岡地区	コロナの影響で新規利用者が増えなかった。
50	普通	サービス業(対個人)	6 名～10 名	北九州地区	影響なし
51	普通	サービス業(対個人)	6 名～10 名	筑豊地区	景気悪化に伴いモラルリスクの増加
52	普通	サービス業(対個人)	6 名～10 名	筑豊地区	新車の納入が遅れている。部品も・・・
53	普通	サービス業(対個人)	11 名～20 名	福岡地区	緊急事態宣言が発令されると、通所自粛が出て売上減少につながる
54	普通	サービス業(対個人)	21 名～30 名	福岡地区	コロナに関わらず資金繰りは借入ができない。
55	普通	サービス業(対個人)	21 名～30 名	筑豊地区	このまま、コロナ、感染者が出なければ、問題ありませんが、1 人でもでたら、施設を一旦、閉めなくてはならなくなります。そうなると、利用者が利用出来なくなるため、他施設に移動する事が考えられるため、大きな損害となります。
56	普通	サービス業(対個人)	31 名～50 名	県南地区	業務の性質上が影響してか応募者数が少ない
57	悪い	製造業(生産財)	0 名～5 名	福岡地区	現状に対応するのみ、わかりません。
58	悪い	製造業(生産財)	0 名～5 名	筑豊地区	業界の構造的な課題が存在していましたが、コロナを機に露出し、加速していると考えています。例えば国内は需要減なのに鉄鋼の価格の上昇。これは中国の動向に左右されていると考えます。高炉メーカークラスでも統合されましたが、はたして理にかなっているか不明です。大手がこれですから、零細企業の弊社では黙々と日銭を稼ぐしかないと思っています。
59	悪い	製造業(生産財)	21 名～30 名	県南地区	原材料価格の高騰の要因の一つに、各国政府がコロナの蔓延による景気の落ち込みを防ぐべく行われている金融緩和が金余りとも言える状況を生み出し、その余った金が先物市場に流入した事による、実態の無い高騰という面がある。
60	悪い	製造業(消費財)	11 名～20 名	福岡地区	世界的な蔓延の影響から、各国の生産量が減少した為、品薄となり仕入れ価格が上昇。しかしながら、国内需要の落ち込みもあり、上昇価格分を販売価格へ転嫁するのが難しい状況がある。その為、利益率、利益額共に減少傾向。
61	悪い	製造業(消費財)	11 名～20 名	福岡地区	民需の回復が半年ずれ込む恐れがあり。
62	悪い	製造業(消費財)	31 名～50 名	福岡地区	合板、木材の仕入れ価格が 10～15%上昇している。今後は入手も厳しくなることが予想されるので、代替材の検討を急ぎ行っている。
63	悪い	製造業(消費財)	51 名～100 名	福岡地区	仕事量が減少。
64	悪い	建設業(建築)	6 名～10 名	福岡地区	集客や商談が滞っている
65	悪い	建設業(建築)	6 名～10 名	福岡地区	木材不足・高騰が深刻です。
66	悪い	建設業(建築)	11 名～20 名	福岡地区	新型コロナでお店は閉店.この時期新規オープンする所は少ないです
67	悪い	建設業(建築)	21 名～30 名	福岡地区	建築資材(柱や梁等)の輸入が極端に減少(ウッドショック)し、建築工事量が少なくなっている
68	悪い	建設業(土木)	0 名～5 名	福岡地区	大きな影響なし
69	悪い	建設業(土木)	6 名～10 名	筑豊地区	病院関係の取引先がコロナクラスター発生により、受注後に工事がストップするなど飲食店や旅

					客関係に比べれば大したことないかもしれないが少なからず影響を受けてる。
70	悪い	建設業(設備)	0 名～5 名	県南地区	設備投資が減少してきている中、価格競争が出だしたようだ。
71	悪い	建設業(設備)	11 名～20 名	福岡地区	仕事量が減少し、下請け業者への仕事なし。
72	悪い	建設業(設備)	31 名～50 名	筑豊地区	当社のお客様は、食品製造業が主体であり、この業界は特に業務用食品製造業の大幅な落ち込みのため、前期(当社は4月決算)約1億の完成工事物件を受注予定であったが、お客様の業績悪化に伴い、工事が2年以上延長されたりあるいは、工事計画自体が消滅したりした。
73	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	筑豊地区	仕入れ単価が高騰しており、売価が高くなっている。
74	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	筑豊地区	旅行、イベントがないので、新しく購入する必要がない。お客様が来店されない、あまりこちらからもアプローチしにくい、影響はかなりあります。
75	悪い	商業・流通業	0 名～5 名	県南地区	麺関係の業務用小麦粉の卸が中心の為、外食が冷え込んだり、お土産物のお菓子や麺商材の売れ行きが非常に悪い。その影響をもろ受けるため売り上げが減少している。4月にやっと戻ってききつつあるかなと思ってたが、緊急事態宣言が出された5月は大きく減少した。
76	悪い	商業・流通業	11 名～20 名	福岡地区	新規顧客の獲得が難しい
77	悪い	商業・流通業	31 名～50 名	福岡地区	コロナ過の中でも、4 月まで前年同様の売上・利益であったが、度重なる緊急事態宣言の発令でユーザーが「買い控え」「案件の先送り」を行っている。
78	悪い	商業・流通業	31 名～50 名	筑豊地区	需要減少
79	悪い	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	3密の回避により、事業の遅れや納品時期の延期などが増え、売上の減少や経費の拡大を招いている。
80	悪い	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	コロナによって逆に資金調達が進んだが、限界まで借入をしたためこれ以上の調達は見込めない中、主たる顧客である小さな事業者の固定費削減の風潮で売上が伸びず利益を出せないと返済開始後のキャッシュフローに大きな影響があると考える。コロナによって事業改善の雰囲気は進んでいてそこは受注のチャンスではあるが固定費削減の雰囲気とのせめぎあいになるのでサービス品質や情報発信の精度向上が喫緊の課題。
81	悪い	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	コロナにより取引先資金状況が変化し、ネット広告など経費削減の為取引解約が多発
82	悪い	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	コロナによる緊急事態宣言で生徒が休んだり、セミナーの参加者が減少した
83	悪い	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	海外企業との取引不可。
84	悪い	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	大きな流れとして、全体的に動きが鈍い
85	悪い	サービス業(対事業所)	6 名～10 名	福岡地区	お客様がコロナの影響で店を閉めたり、また経費削減の見直しなどにより、結果解約されたりしている
86	悪い	サービス業(対事業所)	6 名～10 名	福岡地区	コロナの影響で売り上げ低迷した大手企業からの派遣人員の雇止めをされた。
87	悪い	サービス業(対事業所)	11 名～20 名	福岡地区	景気低迷で求人需要が低迷している。介護・医療関係などエッセシャルワーカーの求人は伸びているが、全体の売上をカバーできるほどではない。求人企業の採用面ではお役に立てて い

					る。
88	悪い	サービス業(対事業所)	11 名～20 名	福岡地区	取引先がコロナの影響を受けているため、必然的に当社も売上が落ちた。
89	悪い	サービス業(対事業所)	31 名～50 名	福岡地区	取引先の経費削減に伴う、当社売上の減少。
90	悪い	サービス業(対事業所)	100 名以上	県南地区	コロナの長期化により契約先の経営状況にも影響が出てきているため、弊社へもその影響が出てきている
91	悪い	サービス業(対個人)	0 名～5 名	福岡地区	顧客の減少
92	悪い	サービス業(対個人)	0 名～5 名	福岡地区	人の動きの減少に伴う売上減少
93	悪い	サービス業(対個人)	0 名～5 名	筑豊地区	コロナによる輸出減少
94	悪い	サービス業(対個人)	6 名～10 名	福岡地区	コロナの影響で、受注数が現在の従業員で回せています。新たな人材を採用した場合、十分な仕事量がない為、採用活動へ動き出し辛いです。しかし、従業員の高齢化も進んでいく為、早めに何らかの対応はしていきたいです。
95	悪い	サービス業(対個人)	6 名～10 名	福岡地区	やや回復してるが、緊急事態宣言が出ると悪くなる
96	悪い	サービス業(対個人)	6 名～10 名	福岡地区	予定していた訪問や面談のキャンセルが相次ぎ、商談が進まない。感染拡大の恐怖とワクチン接種について社員同士の意見の相違がでている。
97	悪い	サービス業(対個人)	6 名～10 名	筑豊地区	建築資材高騰・入荷難
98	悪い	サービス業(対個人)	31 名～50 名	筑豊地区	利用者の感染者発生時の対策として、隔離対策を取りたいがそのスペースが確保できない、導線の分離が難しい、隔離対策用の特殊機材が準備て来ていない。職員が感染した場合、補充・支援要員の確保が確定していない。全体の対策として、BCPの策定が出来ていない。
99	非常に悪い	製造業(生産財)	6 名～10 名	県南地区	新規ホテル物件の減少
100	非常に悪い	製造業(消費財)	11 名～20 名	福岡地区	展示会販売を柱とするが、中止や延期が相次ぎ、これまでの売上は作れない。取引先の廃業、撤退が出始めている。原材料価格上昇のため、仕入れ先からの値上げがあった。
101	非常に悪い	製造業(消費財)	21 名～30 名	福岡地区	生活様式の変化、個人消費の減少からくる消費財の生産活動の停滞となっている。その影響で設備投資、物流機器への投資が減少し、わが社の案件の減少となっている。
102	非常に悪い	建設業(建築)	0 名～5 名	福岡地区	物件計画の先延ばしにより、着工物件が減少している為、各ポジションで同業者間の価格競争が激化してきている
103	非常に悪い	商業・流通業	21 名～30 名	県南地区	百貨店など小売店の集客が、緊急事態宣言でほ不可能となり、販売は激減した。
104	非常に悪い	サービス業(対事業所)	0 名～5 名	福岡地区	企業の出張、観光旅行の減少。
105	非常に悪い	サービス業(対事業所)	6 名～10 名	福岡地区	コロナ対策優先政策のため、業界全体の予算規模が小さくなっている。
106	非常に悪い	サービス業(対個人)	0 名～5 名	福岡地区	飲食業ですかお客様の来店激減
107	非常に悪い	サービス業(対個人)	0 名～5 名	北九州地区	ほぼ休業しています。
108	非常に悪い	サービス業(対個人)	0 名～5 名	県南地区	借金の返済開始雇用期間(時間)
109	非常に悪い	サービス業(対個人)	0 名～5 名	県南地区	和服の小売を営んでおりますが、祭り・花火大会などのイベントの中止・外出自粛の影響できも

					のを着て行く場所がない…
110	非常に悪い	サービス業（対個人）	11 名～20 名	福岡地区	イベントの蒸発
111	非常に悪い	サービス業（対個人）	11 名～20 名	福岡地区	コロナ対策をとって店舗営業しても来客数の減少、日中飲食店には緊急事態宣言での補助がなく業務も停止状態
112	非常に悪い	サービス業（対個人）	21 名～30 名	県南地区	飲食業であるため、休業が続きまともに営業が出来ない。
113	非常に悪い	サービス業（対個人）	51 名～100 名	福岡地区	コロナウィルス感染症による緊急事態宣言発令がロックダウンにつながっている。
114	非常に悪い	サービス業（対個人）	51 名～100 名	北九州地区	不要不急のサービス業なので、世間の風当たりが厳しい。